# 議員団ニュース

日本共産党平塚市議会議員団
団　長　松 本 敏 子
電話・fax　59-4607
mail@matsumoto-toshiko.jp

幹事長　高 山 和 義
電話・fax　31-4638
k.takayama@mb.scn-net.ne.jp

発行　：日本共産党平塚市議会議員団
連絡先：平塚市天沼２－４３
日本共産党平塚市委員会
電話　０４６３－２３－０７１４
FAX　０４６３―２３－０７０４

No.1789　2026年11月1日発行

**日本共産党議員団の法律相談**

次回は１１月１９日（木）

午後３時～　（要予約）

申し込みは上記議員迄ご連絡ください

# 共産党平塚市議団実施の市政アンケートに多くの地域要求が

## 市政アンケート　６万枚

共産党市議団は、9 月から市内全域を対象に「市政アンケート」をお配りし、皆さんからのご意見・ご要望を伺っています。平塚市の世帯数は10月現在で12万世帯ですので、半数のお宅への配布となりました。

現在、返信用封筒と QR コードとの2種類の方法でお返事が寄せられており、1つ1つ地域の課題を確認する作業を進めています。

災害、危険個所や道路・河川の問題、介護等の福祉の問題など日頃気になっていることを忌憚なく寄せていただいています。

氏名を記入していただいたところには訪問して詳細をお聞きし、市に関することは市の担当課に要望しているところです。

また、日本共産党または共産党市議団へのご意見・ご要望もいただいているところです。

共産党がやっていることは良く理解できるが、やはり「共産党」という名前のイメージが良くない。として党名を色々考えて提示してくださる方が何人も居られました。

また平塚市議会に対する意見として、「平塚市議会は市民に開かれた議会になっていない。市民の声を聴く場を設けるべき。今の議会では市民の声は全部つぶされてしまう。市民が誇れる市議会になることを願う。」という声も寄せられました。

私たちも議会内から、議会の透明性、開かれた議会にするために力を尽くしますが、皆さんも議会を傍聴し、皆さんが1票を投じた議員が自分の思いを代弁している議員であるか、ぜひ確認していただくことも重要かと思います。

# 宮の前歩道橋　安全性の確保を







平塚駅から市役所に向かうと平塚八幡宮の前に宮の前歩道橋があります。市民の方から「ひどい」というご指摘を受け、確認に行き驚きました。

歩道橋の上の両側に草がぼうぼうと生え、いたるところが極度にさびています。

市役所には、駅を降りてこの歩道橋を歩いてくる他の自治体の人も多く、いわば平塚市の玄関口ともいえる歩道橋です。平塚市の担当課では、すでに横浜国道事務所に改善を求めているが、なかなか進んでいないとのことでしたが、安全性の面はもちろんですが外観からしても問題であり、早急に対応するよう、再度連絡をお願いしました。

# 紅谷町５番街区東地区（梅屋跡地）への導入機能を検討する庁内体制と基本方針

**10 月 26 日に行われた議員向けの「定例行政報告会」において、紅谷町 5 番街区東地区に導入する機能の検討を進めるための体制と基本方針が示されました。**

**庁内体制**

**企画政策課、資産経営課、都市整備課駅周辺地区整備担当の 3 課、および平塚駅周辺地区将来構想に例示されている施設の部署**

**基本方針**

**平塚信用金庫とのパートナーシップのもとでの 2 つの柱**

**①駅北口周辺地区の賑わい創出に寄与する機能**

**②市民ニーズや社会環境の変化を踏まえ、市としての課題解決につながり、効果的で持続可能な機能**

**今後の進め方**

**庁内検討と並行して平塚信用金庫との協議を進める。**

## 6 月議会における清風クラブ（片倉章博議員）の質問に対する市長答弁から

片倉議員

将来構想の中にも、中心市街地に関しては幾つかの拠点を持ち込むというようなことでうたわれている。今、平塚市全体の中で、中央公民館の大ホールに関しては、400 人程度のホール等が必要であると。また、ここでラスカの６階に図書館等が一応 12 月に開設されると、そういうような公共施設としての大きな役割を中心街の梅屋跡地に平塚信用金庫さんと一緒に誘致をしていき、平塚市の活性化につなげるということが私は重要だと思っているが、市長の見解があればお伺いしたい。

落合市長

今回中央公民館を９月末に一応閉鎖するということに関しては、相当いろいろな皆さんからの御意見がある。400 人程度のホールも必要ではないか、これから改修に中央図書館は入っていくので、この公共施設というのは、大変市民サービスにとっても多くの方が利用するということについて、それをより駅に近いような中心街に考えていくということは、とてもこれからの時代の要請ではないかなというふうに私は考えている。特にホール機能については、中央公民館が休館となることも踏まえて、今後多くのホール機能を中心街のこの地に整備することができるのかどうか、先ほど申し上げたけれども、今後は、平信さんと一緒に、どういう形で公共施設も含めた中心街の魅力化を図っていくか、これはいろいろな角度から前向きに考えていきたい。

**今の段階では、紅谷町 5 番街区の計画、方針はこの答弁以外には明らかになっていません。平塚信用金庫との協議で、市民の声をどう反映しようとしているのか？庁内若手職員もプロジェクトチームを発足したといいます。ぜひ多くの利用者の声が生きる検討を期待したいと思います。**

# 駅の図書室　12月5日（土）ラスカ６階にオープン

### 代替施設と分館の比較

| | 代替施設（現行） | 分館（新） |
|---|---|---|
| 名　称 | ひらつか駅の図書室 | 駅の図書室 |
| 面　積 | 約 188 ㎡ | 約 330 ㎡ |
| 資料数 | 4,545 冊（令和 7 年度末） | 約 10,000 冊（予定） |
| 座席数 | 50席（うち自習席8） | 約70席（うち自習席9） |
| 役　割 | 改修に伴う休館中の図書館の代替施設（限定的な設置） | 中央図書館本館の業務の一部を担う施設（継続的な設置） |



平塚市中央図書館

平塚市中央図書館は昭和45年に開館した鉄筋コンクリート造の建物です。

耐震診断の結果、耐震不足が判明しましたが、建物の劣化度調査の結果、

・コンクリート圧縮強度　：基準強度以上

・コンクリート中性化深さ　：基準値以内との判定で、目標耐用年数76年に対する残年数なども総合的に判断し、耐震補強工事となったものです。

現在耐震工事のため、今年の6月末から令和10年2月末まで休館となっています。

令和10年3月のリニューアルオープンには、地域資料等の広範な資料収集やレファレンスの強化、出前図書館等の役割を担うことになっています。

令和7年3月からラスカ6階に開設された「ひらつか　駅の図書室」は中央図書館が休館してからも代替施設として開設していましたが、11月30日から12月4日までは分館開設の準備のため閉館となります。

12月5日から場所も拡大されて「分館」として開設されます。

**12月5日、午前10時10分からオープン記念式典が行われます。**

10時30分から一般利用開始となります。

開設時間

平日は午前10時～午後8時まで

土日祝は午前10時～午後6時まで

休刊日

年末年始（12月29日～1月3日）

ラスカ休館日、特別整理期間

場所が広くなり、本も2倍になることから、本に親しむ時間がもっと増えることを期待したいですね。